

保護者の皆様へ

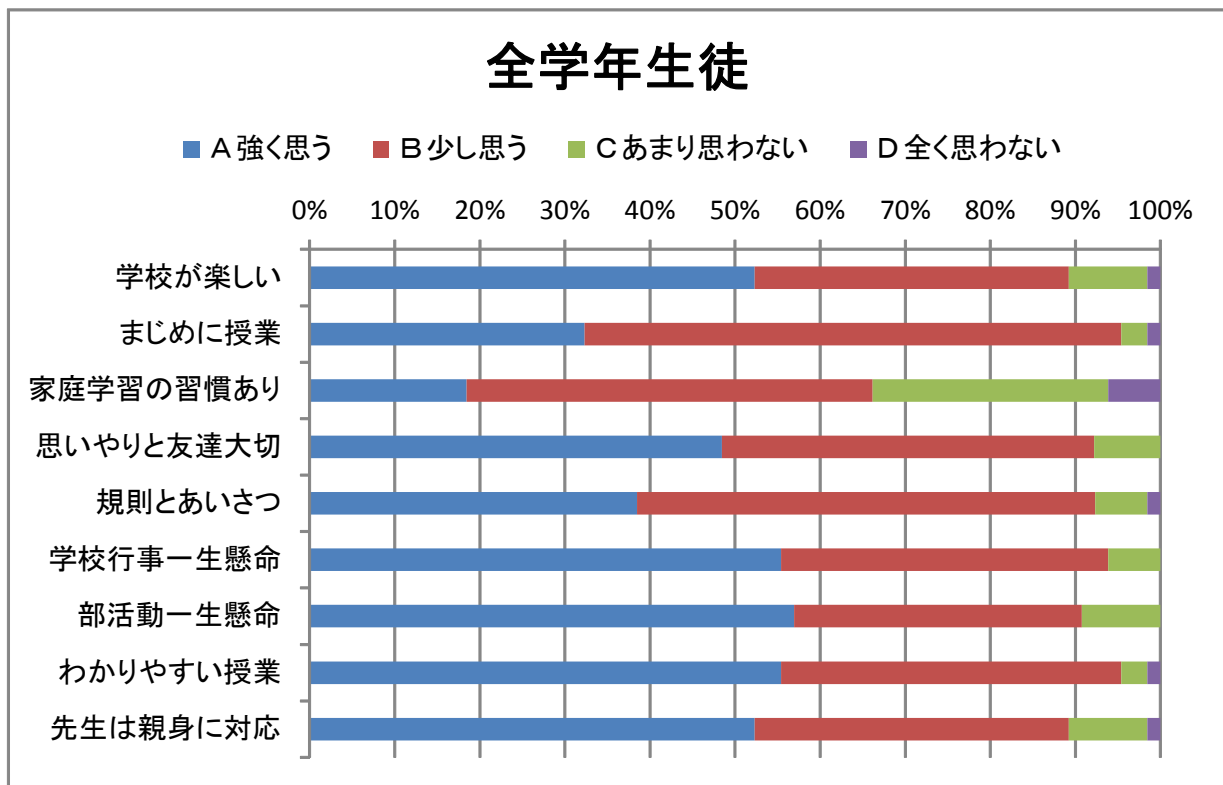
いわき市立豊間中学校長 高濱 俊彦

### 学校評価に関するアンケート結果のお知らせ

厳寒の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。冬季休業も無事終了し、生徒たちは、気持ちも新たに新学期を迎えました。今学期も教職員一丸となって生徒たちのために努力してまいりますのでよろしくお願いいたします。

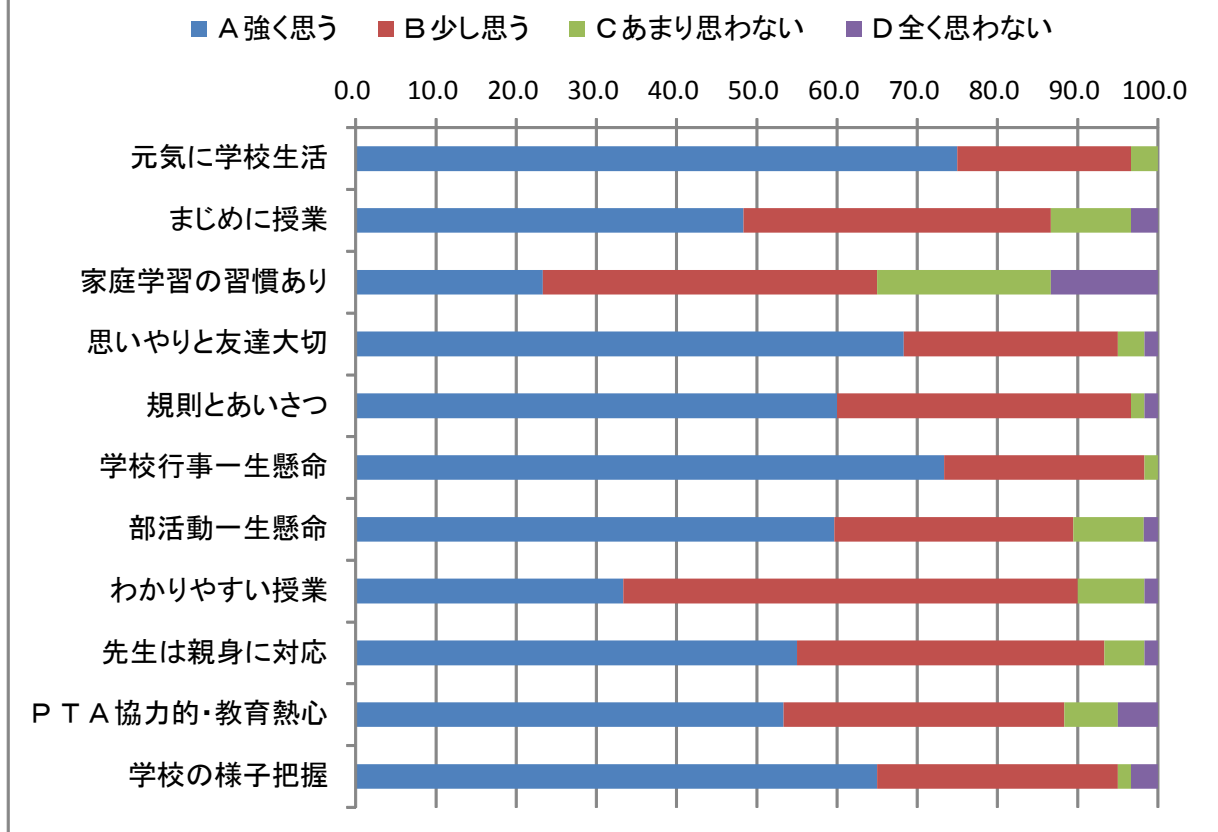
さて、3学期早々に実施いたしました「学校評価に関するアンケート」の結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

保護者の皆様からは、貴重なご意見をいただきました。この結果を真摯に受け止め、今学期はもちろん、来年度に向けての学校教育改善のための資料として活用させていただきます。



- ① 約50%以上の生徒が「学校がとても楽しい」と回答している。「どちらかといえば楽しい」を含めれば約90%となる。  
この結果に満足せずに、今後も生徒が一日のほとんどを過ごす学校をより楽しいと感じられる環境作りを目指す。
- ② 90%以上の生徒が「授業が分かりやすい」と回答している。この結果を受け、一層の授業の充実と生徒の学力向上、そして一人ひとりの進路実現を目指す。
- ③ 「家庭学習の習慣あり」と自信をもって回答した生徒が20%弱と少ない。多くの生徒が「授業が分かりやすい」と感じているのに、家庭で学習することに反映されていない現状が垣間見られる。  
授業と家庭学習の関連付けが今後の課題である。

## 全保護者



保護者からほとんどの項目において昨年度より 10 ポイント程度高い評価を頂きました。

- ① 約75%の保護者は、子どもが「とても元気に学校生活を過ごしている」と捉えている。学年間に大きな差はない。
- ② 「部活動に一生懸命取り組んでいる」「学校行事に一生懸命取り組んでいる」などほとんどの質問に対してAの回答の割合が高くなっている。  
今年度は、例年よりも学校活動全体において子どもたちの取り組みが積極的になり、活発化していると思われる。
- ③ 「家庭学習の習慣あり」と強く思う保護者は25%程度である。進路の実現を図るためにも、早い段階からの家庭学習を習慣化し、基礎基本を身につける必要がある。

### <まとめ>

次のことを目指し、実践します。

- ① 「学校生活が楽しい」と回答する生徒が100%となることを目指す。
- ② 教師は「わかる授業」を実践し、子どもたちの学力向上を目指す。
- ③ 教師は、子どもたちが家庭学習の習慣が身につくような手立てを考え、実行する。
- ④ 学校行事、部活動、生徒指導については生徒・保護者の評価が高い。教師は、これまでの取り組みを継続していく。